

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

【会社】株式会社 エス・サイエンス
 【住所】東京都中央区銀座8-9-13
 【担当部門】金属事業部
 電話番号 03-3573-3722 FAX番号 03-3573-3725
 【緊急連絡先】金属営業部
 電話番号 03-3242-0526 FAX番号 03-3242-0521

作成日 2023年3月31日

整理番号 Ni-1

製品名 (化学名、商品名) 塩化ニッケル

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

健康に対する有害性:	急性毒性 (経口)	区分 3
	呼吸器感作性	区分 1
	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1A
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分 1 (中枢神経系)
	特定標的臓器毒性 (反復暴露)	区分 1 (腎臓、呼吸器、精巣)
環境に対する有害性:	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 1
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 1

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

飲み込むと有害

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれ
 発がんのおそれ
 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
 臓器（中枢神経）の障害
 長期にわたるまたは反復ばく露による臓器（腎臓、呼吸器、精巣）の障害
 水生生物に非常に強い毒性
 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き：

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 粉じんを吸入しないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／を着用すること。
 指定された個人用保護具を使用すること。
 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。

【応急処置】

飲み込んだ場合直ちに医師に連絡すること。
 口をすすぐこと。
 吸入した場合、呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師に連絡すること。
 呼吸に関する症状が出た場合は、医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
 皮膚刺激又は発しんが生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断／手当てを受けること。
 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
 流出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器の処理は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学物質・混合物の区別： 化学物質

化学名又は一般名： 塩化ニッケル(II)六水和物
 化学式： $\text{NiCl}_2 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$
 成分及び含有量： 含有量 97.2%
 Ni含有量 24.0% 以上
 CAS番号： 7791-20-0
 EINECS No.： 2317430
 官報公示整理番号： 化審法 (1)242

4. 応急措置

吸入した場合： 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師に連絡すること。
 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合： 多量の水と石鹸で洗うこと。
 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと
 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合： 直ちに流水で15分以上洗浄する。医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合： 飲み込んだ場合直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤： 情報なし

火災時の特有の危険有害性： 火災により粉末が拡散すると、浮遊粒子が急速に有害濃度に達することがある。
 高温になると分解し、有害な塩素ガスとニッケル酸化物が発生する。

特有の消火方法： 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
 消火活動は、可能な限り風上から行う。

消火活動を行う者の特別な
 保護具及び予防措置： 消火作業の際は、状況に応じた保護具を必ず着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急時措置： 流出物を回収すること。
 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
 作業の際は保護具(8. 暴露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、接触及び粉じんの吸入を避ける。
 風上から作業し、風下の人を避難させる。

環境に対する注意事項：	漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。 濃厚な廃液が河川などに排出されないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	漏出したものをすくい取る、またははき集めて紙袋またはドラム等に回収する。 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	換気の良い場所で取り扱う。 吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。 取扱い場所の近くには、手洗い、洗眼などの設備を設け、取扱い後に、手、顔などをよく洗う。
局所排気・全体換気：	取扱う場合は、全体換気の設備のある場所で取扱う。
安全取扱い注意事項：	みだりに粉じんが発生しないように取扱う。
接触回避：	酸化剤と接触しないように取り扱う。
衛生対策：	取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保管	
安全な保管条件：	高温、多湿な場所を避け、密閉して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料：	ポリエチレン容器またはガラス容器。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度	
日本産業衛生学会(2020)：	0.01mg/m ³ (Ni) ¹⁾
ACGIH：	TLV-TWA 0.1mg(Ni)/m ³ ²⁾
設備対策：	屋内作業場での使用は、局所排気装置を設置することがのぞましい。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
保護具	
呼吸用保護具：	防塵マスク
手の保護具：	不浸透性保護手袋
目の保護具：	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具：	安全帽、保護長靴、保護服、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態：	固体

形状：	粉末
色：	緑色
臭い：	無臭
融点/凝固点：	1001 °C ³⁾ (無水)
沸点又は初留点及び沸騰範囲：	情報なし
可燃性：	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：	情報なし
引火点：	情報なし
自然発火点：	非該当
分解温度：	情報なし
pH：	情報なし
動粘性率：	情報なし
溶解度：	67.8g/100g(26°C) ³⁾ アルコールに易溶 ³⁾
n-オクタノール/水分配係数：	情報なし
蒸気圧：	情報なし
密度及び/又は相対密度：	1.92 g/cm ³ (25°C) ³⁾
相対ガス密度	情報なし
粒子特性：	情報なし
その他：	潮解性あり

10. 安定性及び反応性

反応性：	情報なし
化学安定性：	不燃性。通常の使用、保存状態において安定。
危険有害反応可能性：	濃硫酸との混合により、常温でも塩化水素ガスが激しく発生する。
避けるべき条件：	混触危険物質との接触
混触危険物質：	酸化剤
危険有害な分解生成物：	塩素ガス、ニッケル酸化物 (加熱分解)

11. 有害性情報

急性毒性：	ラット 経口 LD ₅₀ 105 mg / kg ⁴⁾ マウス 腹腔 LD ₅₀ 48 mg / kg ⁴⁾
皮膚腐食性・刺激性：	情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性：	ニッケルとして日本産業衛生学会の許容濃度等の勧告(2020)で気道感作性物質(第2群)、皮膚感作性物質(第1群)に分類されている ¹⁾
生殖細胞変異原性：	ハムスター 繊維芽細胞 (SCE試験) 32 mg/1 ⁴⁾
発がん性：	人に対して発ガン性を示す。

	IARC発ガン性評価：1 ⁶⁾
生殖毒性：	ラット 経口投与 胎児 TDL ₀ =1670mg/kg ⁴⁾ 人 HeLaセル DNA損傷 250μmol/L ⁴⁾ マウス 乳腺 遺伝子 800μmol/L ⁴⁾
特定標的臓器毒性(単回暴露)：	人について「悪心、腹部痙攣、下痢、嘔吐、頭痛、眩暈、脱力感、筋肉痛」が見られる。 ⁵⁾ ニッケル化合物の人での急性毒性について「悪心、下痢、眩暈、頭痛」がみられる。 ⁵⁾
特定標的臓器毒性(反復暴露)：	人については「尿中β2-ミクログロブリンレベルの上昇」、実験動物については「気管支上皮の過形成、精細管径の顕著な縮小」などから腎臓、呼吸器、精巣が標的臓器と考えられる。 ⁵⁾ ニッケル及びニッケル化合物の暴露はたとえ職業暴露許容量に近い量での暴露でも呼吸器経路の刺激性の変性の要因となりうる。長期間の高濃度暴露は肺繊維症を引き起こすと考えられる。 ⁵⁾
誤えん有害性：	情報なし

1.2. 環境影響情報

生態毒性：	甲殻類(ネコゼミジンコ) 48時間LC50=0.013mg/l (塩化ニッケル・無水) ⁵⁾
残留性・分解性：	情報なし
生体蓄積性：	情報なし
土壤中の移動性：	情報なし
オゾン層への有害性：	情報なし

1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、適正に処理する。
汚染容器及び包装：	空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

1.4. 輸送上の注意

国際規則	
国連番号：	3288
品名(国連輸送名)：	その他の毒物(無機物)(固体)
国連分類：	クラス 6.1 (毒物)
容器等級：	III

海洋汚染物質：	該当
国内規則	
陸上規制情報：	該当なし
海上規制情報：	船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空規制情報：	航空法の定めるところに従うこと。
特別の安全対策：	運搬に際しては容器の破損漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

1.5. 適用法令

消防法：	該当なし
毒物及び劇物取締法：	該当なし
労働安全衛生法：	名称等を表示すべき有害物(第57条1、施行令第18条 24の2 名称等を通知すべき有害物(第57条の2第1項別表第9の418)
特定化学物質障害予防規則：	第2類物質の粉状のニッケル化合物に該当(2条第1項第2号) 管理第2類物質(2条第1項第5号)、特別管理物質
化学物質管理促進法 (PRTR法)：	第1種指定化学物質 特定第1種指定化学物質 管理番号309号のニッケル化合物
船舶安全法：	危規則告示別表第1 毒物
航空法：	施行規則第194条 毒物
輸出貿易管理令：	別表第1、16項(2)

1.6. その他の情報

引用文献

- 1) 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会、2020)
- 2) DTLVS TLV/BEI (2013) (RTECS)
- 3) 化学大辞典(化学大辞典編集委員会、2006)
- 4) RTECS: Registry of Toxic Effects Chemical Substances
- 5) ECETOC: European Centre for Ecotoxicology & Toxicology of Chemicals(2003)
- 6) IARC: Cancer Review

<記載内容について>

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、その内容を保証するものではありません。

<問い合わせ先>

担当部門	： 金属事業部
電話番号	： 09-3578-3722